

**製品名: pICln ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16126**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CLNS1A CLNS1A; CLCI; ICLN; Methylosome subunit pICln; Chloride channel; nucleotide sensitive 1A;
別名	Chloride conductance regulatory protein ICl <sub>n</sub> ; I(Cl <sub>n</sub> ); Chloride ion current inducer protein; ClCI; Reticulocyte pICln
遺伝子 ID	1207.0
SwissProt ID	P54105
免疫原	抗血清はヒト CLNS1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 184-233

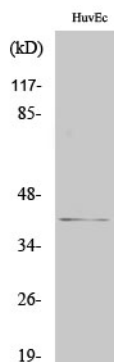
**背景**

この遺伝子は、複数の制御経路で機能するタンパク質をコードしています。コードされたタンパク質は、多数の細胞質タンパク質と複合体を形成し、核内小核タンパク質 (Sm) の生合成、血小板の活性化、細胞骨格の形成など、多様な機能を果たします。また、細胞膜にも結合しており、塩化物イオン電流の調節因子として機能します。この遺伝子の擬似遺伝子は、1 番染色体、4 番染色体、6 番染色体上に存在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015 年 7 月]、機能: Sm タンパク質との相互作用は、U RNA 上でのそれらの組み立てを阻害し、snRNP の生合成を阻害します。Sm タンパク質への生存運動ニューロンタンパク質 (SMN) の結合を阻害します。細胞膨張誘導性塩化物イオンコンダクタンス経路の活性化により、細胞容積制御に関与する可能性がある。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。、類似性: p115 ファミリーに属する。、細胞内局在: 少量は細胞骨格にも関連する。、サブユニット: ホモオリゴマー。SKB1 を含む 20S 複合体であるメチロソームの構成要素。Sm タンパク質と相互作用する。、

## 研究分野

タンパク質リン酸化、チロシンキナーゼ、受容体チロシンキナーゼ、シグナル伝達、タンパク質輸送、小胞輸送、調節、神経科学、Ser/Thr キナーゼ、PKC、神経伝達、分泌小胞、調節

## 画像データ



p115 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析